会報
赤い靴
第 71 号

平成２９年　９月２０日
発　行　NPO 法人 横浜音楽協会
代表者 肥後 嘉昭
事務局　℡045-434-1100
〒222-　港北区菊名 4-3-21
0011 青木ビル ハタ楽器内

第２７回「ローズコンサート」特集

小学校児童による合唱３校、中学校生徒による吹奏楽１校、横浜少年少女合唱団ＯＧ合唱団、中学生によるヴァイオリン独奏、横浜で活躍している演奏家によるソプラノ独唱、ピアノ連弾。今年も多彩な演奏形態での音楽表現のステージとなりました。舞台と客席が一体となっての楽しい音楽を共有できる楽しいひとときとなりました。ご出演の皆様ありがとうございました。

日時／平成２９年６月２５(日)　開場　１４：００　　会場／横浜市市民文化会館 関内ホール

主催／ＮＰＯ法人 横浜音楽協会　　共催／横浜市文化観光局

後援／横浜市教育委員会，横浜市立小学校音楽教育研究会，横浜市立中学校音楽教育研究会，(公財)横浜市芸術文化振興財団，(公財)はまぎん産業文化振興財団，(公財)よこはまユース，神奈川新聞社，ＮＨＫ横浜放送局，ｔｖｋ(テレビ神奈川)，ラジオ日本

協賛／㈱ヤマハミュージックリテイリング横浜店，㈱ハマ楽器，㈱シムラ楽器，ハタ楽器㈱，(有)旭屋

☆　演奏と感想

《第 1 部》

1. 横浜市立富岡中学校［吹奏楽］　　指　揮:高橋　茉実
　海の声　　島袋 優　作曲　　宮川 成治　編曲
　美女と野獣　　アッシュマン、メンケン作曲　　真島 俊夫　編曲

「演奏を終えて」　富岡中学校　吉川　琳

私は、このローズコンサートに出られて、本当に楽しかったです。理由は二つあります。

一つは、保護者様や、いろいろな学校の生徒さん、プロの演奏者にまで、私達の演奏を聴いてもらったからです。ロビーに出たときに、「すごかった」「上手だったね」などの声が聴こえて、私はとてもうれしくなりました。帰ってからも、お母さんが「すごくよかったね」とほめてくれて、ますますうれしくなりました。

二つ目の理由は、１年生も含め、新たな富岡中学校吹奏楽の演奏ができたことです。後輩達は、みんな「緊張してうまくできなかった」と言っていたけれど、とても良い経験になったのではないかと思います。

曲を吹いていた時は、ホールの響きまでいつもは感じられない反響を、ぞんぶんに聴くことができました。失敗してしまった部分があったのが、唯一の心残りです。

今後は、この経験がしっかり生きるように、普段の練習から反省点を出し、改善していけるバンドに皆でしていきたいです。そして、楽しかったこのステージにまたのれるように、努力していきたいです。

「ローズコンサートに出演して」　富岡中学校　山本　優里奈

今回、第２７回ローズコンサートに出演させて頂き、本当にうれしく思います。私達の演奏は第１部の１番ということで、みんなとっても緊張していました。でも、この舞台のためにたくさん練習をしてきたので、本番が少し楽しみでもありました。とうとう本番でステージにのってからは全員の心が一つになった気がしました。

１曲目の「海の声」は波の音ではじまり、そこから木管楽器の優しく柔らかい音が広がり、金管楽器の豊かであたたかい音がホール全体を包みこんでいくように曲です。２曲目の「美女と野獣」は緊張感のある雰囲気ではじまり、木管の目立つ軽快なテンポ感になり、最後にフリューゲルホルンのソロが目立つ、あのメロディーで終わります。

２曲とも有名な曲なので、失敗しないよう注意しました。今回の私達の演奏で、お客様が感動して下さっていたらうれしいです。

また、ローズコンサートで、様々なジャンルの音楽に触れられて、とても貴重な体験でした。私達「富岡中学校吹奏楽部」はこれからも、私達だけの演奏で、私達だけの音楽で、お客様の心の扉を開いていきたいと思います。

2. コーロ・ヨコハマーレ［三部合唱］　指　揮:松﨑　陽治ピアノ:島田　桂子

［三部合唱］よこはま詩集	杉　紀彦　作詞	榊原　まさとし　作曲	大島　ミチル　編曲
［三部合唱］ふるさと	小山　薫堂　作詞	youth case　作曲	Pisacco　編曲
［三部合唱］ふるさとは今もかわらず	新沼　謙治　作詞	新沼　謙治作曲	尼崎　裕子　編曲

「時を越えてつなぐ」　コーロ・ヨコハマーレ　三矢　由紀

本年もローズコンサートに出演の機会をいただき、ありがとうございました。中学生のパワフルなブラスバンド、小学生のまっすぐなピュアな歌声、第２部のソリストの方の見事な演奏。そして、会場のあたたかな拍手。とても楽しく素敵なコンサートでした。

私達、コーロ・ヨコハマーレのメンバーは、小中学校時代を、ここ横浜で音楽とともにすごしました。その後、それぞれの人生を歩み、今またこうして、仲間と一緒に音楽の歓びに触れることができるようになりました。

今日、大人達は、若い人に活での自分を重ね、若い人達は、音楽を忘れずに大人になった姿を垣間見たことでしょう。年代を超え、それぞれの時間を越えてつなぎあった美しい響きが、確かに満ち溢れていました。

「子供の頃、ローズコンサートに出演したの」という音楽家がうまれるかもしれませんね。末永くこの会が続きますように。関係者のご尽力に感謝申し上げます。

3. 横浜市立別所小学校［三部合唱］　指　揮:日吉　ちづる　　ピアノ:長谷川　亜紀子

［三部合唱］いまだよ	宮下　奈都　作詞	信長　貴富　作曲
［三部合唱］樹形図	宮本　益光　作詞	加藤　昌則　作曲

4. 横浜市立大口台小学校[二部合唱]　指　揮:洪　いづみピアノ:古城　京子

［二部合唱］変わらないもの	山崎　朋子　作詞	山崎　朋子　作曲
［二部合唱］Voices	松本　比呂　作詞	松本　比呂　作曲
［二部合唱］手のひらを太陽に	やなせたかし作詞　いずみたく作曲　佐藤賢太郎(Ken-P)編曲	

5. 横浜市立荏田南小学校[二部合唱]　指　揮:網田　恭子ピアノ:仁田峠　洋子,

［二部合唱］つなぐ	仁田峠　洋子　作詞	仁田峠　洋子作曲
［二部合唱］いまだよ	宮下　奈都　作詞	信長　貴富　作曲

「心の重なりを感じられたコンサート」　　横浜荏田南小学校　　植田　そら

私は、初めて出演する出演するローズコンサートを大変楽しみにしていました。今まで出場したコンサートとは違い、年令や実力は関係なく、それぞれのすばらしい特徴を見つけあうかのような、歌と心の重なりを感じられるコンサートに大変感動しました。

私達の合唱部は、男の子も多く、また、たくさんの人数がいるため、声を一つにして歌うことはとても難しく、すごく苦労しました。朝の練習と、少ししかない放課後練習を使い、お腹から響く声を出す練習や、講師の方に来ていただき、自分の声をしっかり理解する大切さなどを学びながら、少しずつ進歩していきました。

本番当日には、中学生の大迫力の合奏や、大人の方々の美しい歌声。そして、他の小学校のきれいなハーモニーを聴き、すごく魅了されました。私達はいつもより少ないメンバーでも、心にとどく歌を歌えるよう、一人一人が気持ちをこめて歌いました。こんなすばらしいコンサートで、たくさんの音楽や、人にふれ合えたことは、これから

のパワーになりました。皆さんへの感謝を忘れず、これからも心を一つにがんばっていこうと合唱部全員が思えた、そんな良い経験になりました。

《第２部》

1. 保科　結太　［ヴァイオリン独奏］　　ピアノ:日下　知奈
　24のカプリースより 20番　　パガニーニ 作曲
　ヴァイオリン協奏曲ニ長調作品77 第1楽章(一部省略)　　ブラームス 作曲

2. 吉田　安梨沙 ［メゾソプラノ独奏］　　ピアノ:斎藤　尚子
　「ジュリオチェーザレ」より さあエジプトの大地よ　　ヘンデル 作曲
　「アドリアーナ・ルクヴルール」より 苦い喜び、甘い責め苦　　チレア 作曲

3. 家城　順子　［ピアノ連弾］
　久田　美和子
　ハンガリー舞曲 第1番、第3番、第4番、第5番　　ブラームス 作曲

「すばらしき音楽の力！」　　家城　順子

４年前に「きらきら星変奏曲」を弾かせて頂き、今回は同期の久田さんと、楽しく連弾の機会を与えられてことに心より感謝しております。ありがとうございました。

久田さんとは、５年程前から仲良くなり、一緒にピアノの勉強をしています。連弾も３年目に入り、息もぴったり合うようになってきました。”息が合う”というのは最も大切で、呼吸さえ合わせれば、どんなに多人数でも気持ちを一つに、タイミングもぴたり合わせられるのです！

ところで、残念だったことがあります。自分たちの出演が最後だと、第一部のかわいらしい子供たちや大人のコーラス、第二部のヴァイオリンやメゾソプラノの演奏を、ゆっくり聴けませんでした。

音楽は、国籍を問わず、性別・年齢も問わず、地球上に生けるすべての動植物の幸せを振りまいてくれますね。慈しみ、愛し愛され、人間らしい心も育んでくれる。そんな音楽を追求できるピアノに一生触れて生きて行けるなんて、自分は本当に恵まれているなあ、と思います。

スタッフの方々、お客様の皆様、本当にありがとうございました！

横浜音楽協会主催コンサート開催予定

《第２６回よこはまベイサイドコンサート》
2019 年 2 月上旬　14:00 開演　会場：かなっくホール
《第９０回横浜新人演奏会》
2019 年 4 月 30 日(火)　1 部:13:00 開演 2 部:18:00 開演　会場：横浜みなとみらい 小ホール
《第２９回ローズコンサート》
2019 年 6 月 30 日(日)　14:00 開演　会場：関内ホール 大ホール